

## 5 高齢者のいる世帯

### 5-1 世帯数の推移

65歳以上の高齢者のいる普通世帯は46.45%

65歳以上の高齢者のいる普通世帯数の推移をみると、昭和53年には140,900世帯で普通世帯全体の27.74%であったが、その後増加し続けており、平成20年には326,000世帯(46.45%)となり普通世帯の5割弱を占めている。

高齢者のいる普通世帯の割合について全国と比較してみると、全国36.63%、本県46.45%となっており、本県が9.82ポイント全国を上回っている。

また、高齢者のいる普通世帯全体に対する高齢単身世帯及び高齢夫婦世帯の割合は、昭和58年調査以降一貫して増加しており、平成20年には高齢単身世帯が54,100世帯(16.60%)、高齢夫婦世帯が67,600世帯(20.74%)となっている。

<図30, 図31, 図32, 表24>

図30 高齢者のいる普通世帯の推移

(昭和53年～平成20年 福島県)

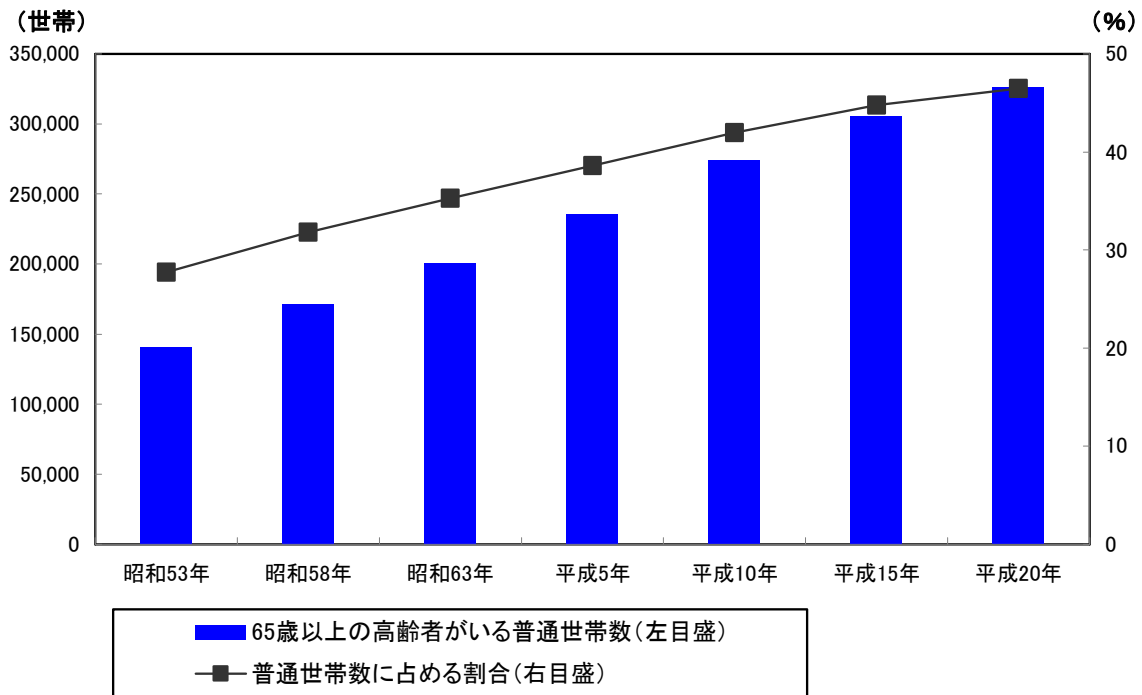


図 31 高齢者のいる普通世帯の割合

(昭和 58 年～平成 20 年 全国・福島県)

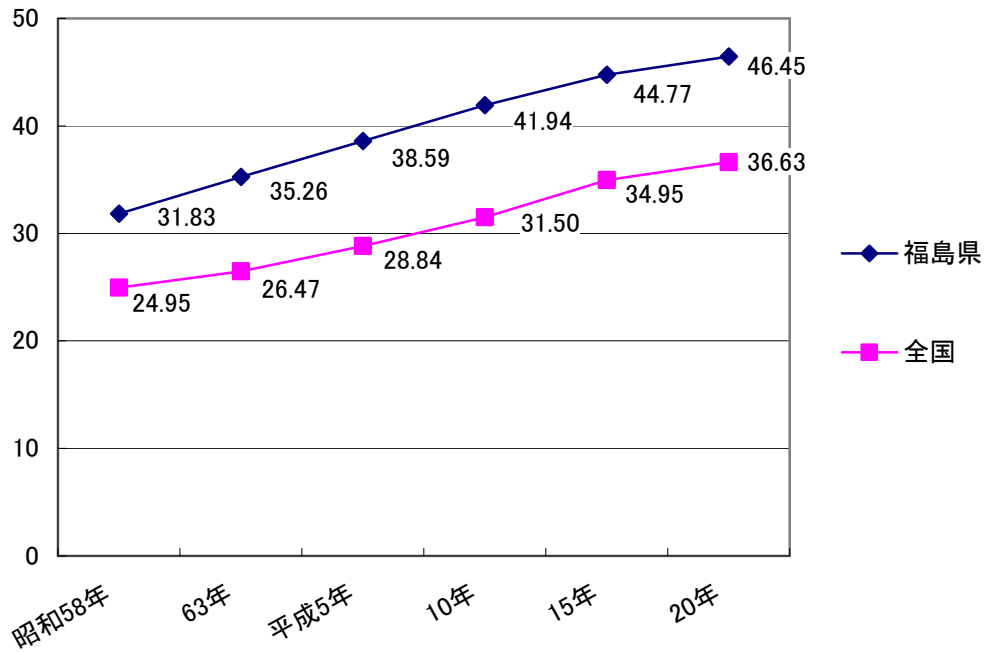
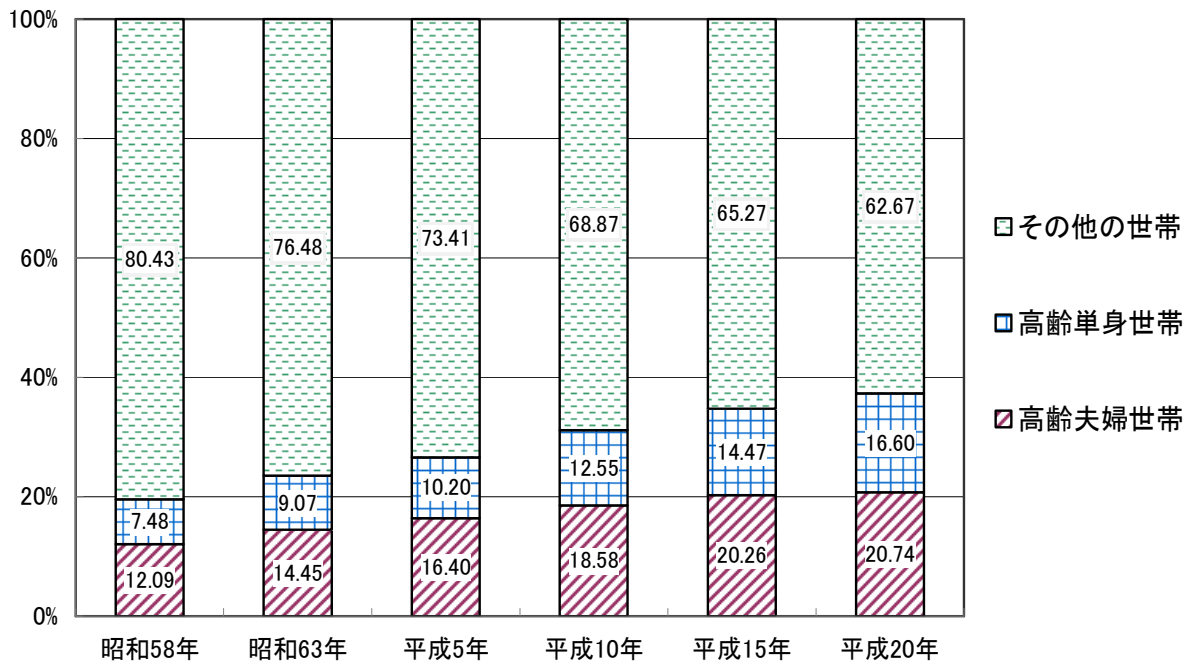


図 32 高齢者のいる普通世帯の型別割合の推移

(昭和 58 年～平成 20 年 福島県)



(注) 高齢者のいる普通世帯のうち、高齢単身世帯及び高齢夫婦世帯を除いた世帯をその他の高齢者世帯とした。

表 24 高齢者のいる普通世帯数

(昭和 53 年～平成 20 年 福島県)

年次	普通世帯総数	高齢者のいる世帯		高齢単身世帯	高齢夫婦世帯	
			75歳以上			夫婦とも
昭和53年	508,000	140,900	...	8,800	...	...
昭和58年	537,800	171,200	...	12,800	20,700	11,200
昭和63年	569,200	200,700	88,600	18,200	29,000	18,800
平成5年	610,000	235,400	106,800	24,000	38,600	26,400
平成10年	653,300	274,000	130,300	34,400	50,900	37,400
平成15年	682,400	305,500	160,700	44,200	61,900	49,000
平成20年	701,800	326,000	...	54,100	67,600	...
割合 (%)						
昭和53年	100.00	27.74	...	1.73	...	...
昭和58年	100.00	31.83	...	2.38	3.85	2.08
昭和63年	100.00	35.26	15.57	3.20	5.09	3.30
平成5年	100.00	38.59	17.51	3.93	6.33	4.33
平成10年	100.00	41.94	19.94	5.27	7.79	5.72
平成15年	100.00	44.77	23.55	6.48	9.07	7.18
平成20年	100.00	46.45	...	7.71	9.63	...
増減数 (世帯)						
昭和53～58年	29,800	30,300	...	4,000	...	...
昭和58～63年	31,400	29,500	...	5,400	8,300	7,600
昭和63～平成5年	40,800	34,700	18,200	5,800	9,600	7,600
平成5～10年	43,300	38,600	23,500	10,400	12,300	11,000
平成10～15年	29,100	31,500	30,400	9,800	11,000	11,600
平成15～20年	19,400	20,500	...	9,900	5,700	...
増減率 (%)						
昭和53～58年	5.87	21.50	...	45.45	...	...
昭和58～63年	5.84	17.23	...	42.19	40.10	67.86
昭和63～平成5年	7.17	17.29	20.54	31.87	33.10	40.43
平成5～10年	7.10	16.40	22.00	43.33	31.87	41.67
平成10～15年	4.45	11.50	23.33	28.49	21.61	31.02
平成15～20年	2.84	6.71	...	22.40	9.21	...

## 5-2 居住状況

誘導居住水準を満たす高齢者のいる主世帯は 76.34%

高齢者のいる主世帯について、最低・誘導居住水準を満たす世帯の割合をみると、最低居住水準を満たしている世帯は 98.68%、誘導居住水準を満たしている世帯は 76.34%となっている。

これを住宅の所有の関係別にみると、持ち家で最低居住水準を満たしている世帯の割合は、99.86%、誘導居住水準では 81.03%となっているのに対し、借家の最低居住水準を満たしている世帯の割合は 91.77%、誘導居住水準では 36.08%となっている。

<図 33, 表 25>

図 33 最低居住水準及び誘導居住水準を満たしている高齢者のいる主世帯の割合  
 <住宅の所有関係別> (平成 20 年 福島県)

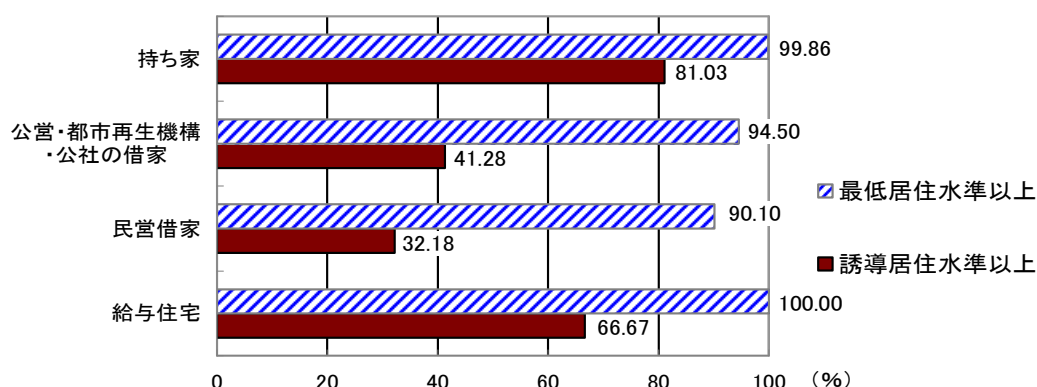


表 25 住宅の所有の関係、最低居住面積水準・誘導居住面積水準別 高齢者のいる主世帯数  
 (平成 20 年 福島県)

高齢者のいる主世帯	総数	最低居住面積水準		誘導居住面積水準	
		水準以上	水準未満	水準以上	水準未満
総数	325,500	321,200	3,000	248,500	75,700
持ち家	292,600	292,200	400	237,100	55,500
借家	31,600	29,000	2,600	11,400	20,200
公営の借家	10,800	10,300	500	4,500	6,300
都市再生機構・公社の借家	100	0	0	—	100
民営借家(木造)	15,400	14,000	1,300	4,900	10,400
民営借家(非木造)	4,800	4,200	600	1,600	3,200
給与住宅	600	600	0	400	200
割合 (%)					
総数	100.00	98.68	0.92	76.34	23.26
持ち家	100.00	99.86	0.14	81.03	18.97
借家	100.00	91.77	8.23	36.08	63.92
公営の借家	100.00	95.37	4.63	41.67	58.33
都市再生機構・公社の借家	100.00	0.00	0.00	—	100.00
民営借家(木造)	100.00	90.91	8.44	31.82	67.53
民営借家(非木造)	100.00	87.50	12.50	33.33	66.67
給与住宅	100.00	100.00	0.00	66.67	33.33

### 5-3 高齢者のための設備

一戸建で高齢者等のための設備がある住宅は 60.38%

高齢者等のための設備がある住宅の割合を住宅の建て方別にみると、一戸建 60.38%、長屋建 26.42%、共同住宅 23.81%となっている。

また、共同住宅のうち、エレベーターありの共同住宅では 64.68%、高齢者対応型の共同住宅では 80.53%となっている。

高齢者等のための設備の内容をみると、手すりの設置の割合が最も高く、一戸建では50.10%、長屋建では20.21%、共同住宅では12.48%となっている。次いで、またぎやすい高さの浴槽の割合が高く、一戸建31.72%、長屋建10.36%、共同住宅9.22%となっている。

<図 34, 図 35, 表 26>

図 34 住宅の建て方別 高齢者等のための設備がある住宅の割合

(平成 20 年 全国・福島県)

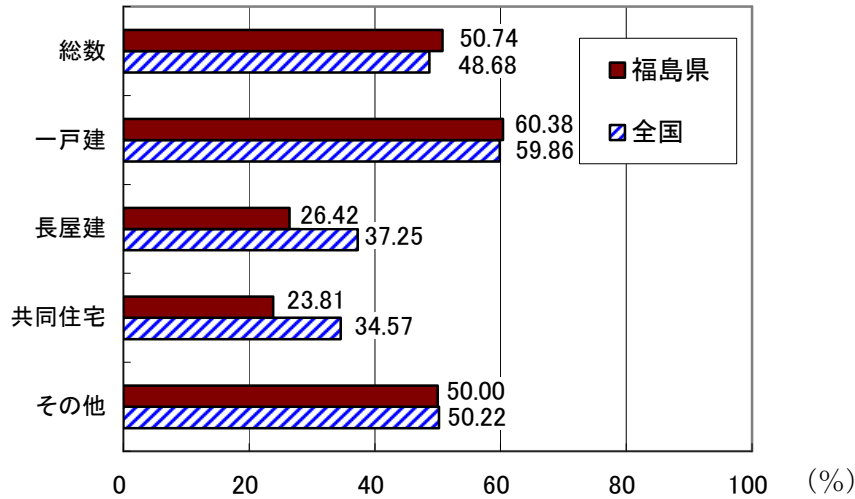


図 35 住宅の建て方別 高齢者等のための設備の種類別割合

(%)

(平成 20 年 福島県)

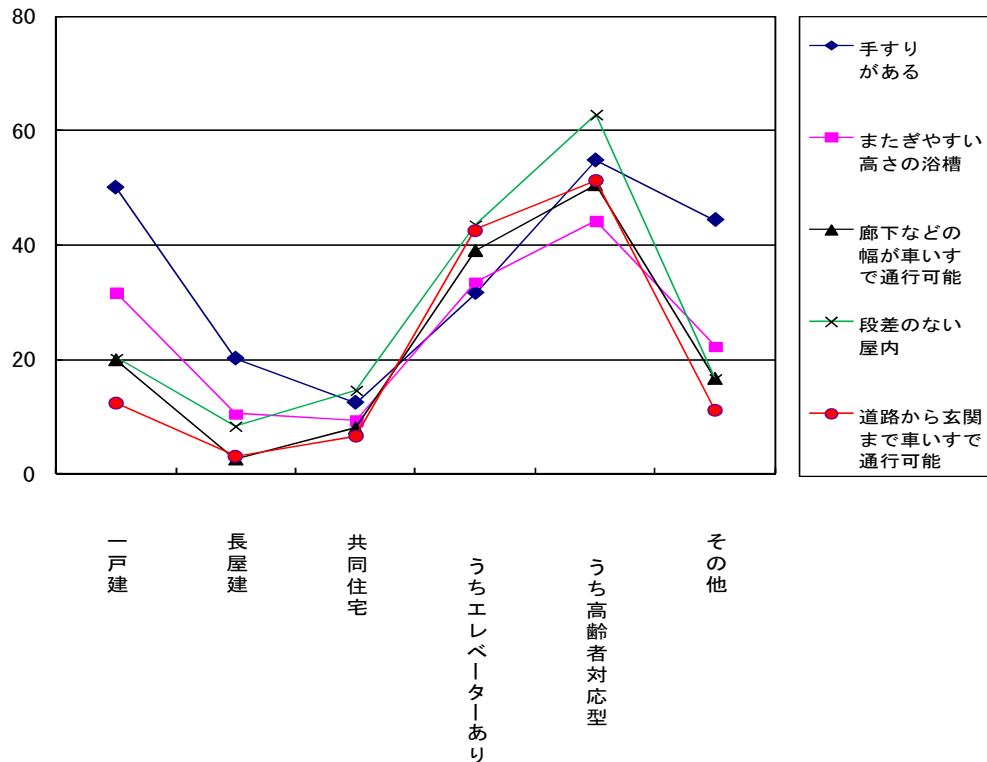


表 26 住宅の建て方別、高齢者等のための設備の種類別住宅数

(平成 20 年 福島県)

住宅の建て方	総数	高齢者等のための設備がある						高齢者等のための設備はない
		総数	手すりがある	またぎやすい高さの浴槽	廊下などの幅が車いすで通行可能	段差のない屋内	道路から玄関まで車いすで通行可能	
住宅総数	699,700	355,000	282,300	180,400	116,100	129,800	75,100	333,700
一戸建	512,600	309,500	256,800	162,600	102,000	103,900	63,600	200,200
長屋建	19,300	5,100	3,900	2,000	500	1,600	600	13,600
共同住宅	165,900	39,500	20,700	15,300	13,300	24,100	10,800	119,200
うちエレベーターあり	21,800	14,100	6,900	7,300	8,500	9,500	9,300	7,100
うち高齢者対応型	11,300	9,100	6,200	5,000	5,700	7,100	5,800	2,200
その他	1,800	900	800	400	300	300	200	800
割合 (%)								
住宅総数	100.00	50.74	40.35	25.78	16.59	18.55	10.73	47.69
一戸建	100.00	60.38	50.10	31.72	19.90	20.27	12.41	39.06
長屋建	100.00	26.42	20.21	10.36	2.59	8.29	3.11	70.47
共同住宅	100.00	23.81	12.48	9.22	8.02	14.53	6.51	71.85
うちエレベーターあり	100.00	64.68	31.65	33.49	38.99	43.58	42.66	32.57
うち高齢者対応型	100.00	80.53	54.87	44.25	50.44	62.83	51.33	19.47
その他	100.00	50.00	44.44	22.22	16.67	16.67	11.11	44.44

高齢者のための設備工事をした世帯は 11.33%

持ち家に居住する主世帯について、平成 16 年 1 月以降の高齢者等のための設備の工事状況を見ると、工事をした世帯が 54,500 世帯で、主世帯全体の 11.33%を占めている。このうち、65 歳以上の高齢者のいる主世帯では 45,000 世帯で高齢者のいる主世帯全体の 15.38%となっている。

高齢者等のための設備工事をした世帯について、工事の内容をみると、トイレの工事の割合が最も高く 6.26%、次いで階段や廊下の手すりの設置 (4.68%)、浴室の工事 (4.68%) となっている。

高齢者のための設備工事をした持ち家に居住する主世帯の割合について、平成 15 年調査 (平成 11 年 1 月以降に実施した設備工事) と比べてみると、平成 15 年 10.90%、平成 20 年 11.33%となっており、0.43 ポイント上昇している。このうち、65 歳以上の高齢者のいる主世帯についての割合をみると、平成 15 年 14.23%、平成 20 年 15.38%となっており、1.15 ポイント上昇している。

<表 27>

表 27 平成 16 年以降の高齢者のための設備の工事状況別 持ち家に居住する主世帯数

(平成 20 年 福島県)

住宅の建て方	総数	高齢者等のための工事をした						工事を していない
		総数	階段や廊下 の手すりの 設置	屋内の 段差の 解消	浴室の 工事	トイレの 工事	その他	
持ち家に居住する主世帯数	481,200	54,500	22,500	8,200	22,500	30,100	8,200	426,700
高齢者（65歳以上）のいる主世帯数	292,600	45,000	18,600	6,300	18,500	25,300	6,800	247,600
一戸建	288,900	44,600	18,500	6,200	18,300	25,000	6,700	244,300
長屋建	800	100	0	—	0	0	0	700
共同住宅	2,200	200	100	0	0	100	100	2,000
その他	800	100	0	0	0	100	0	700
高齢者のいない主世帯数	186,100	9,400	3,800	1,900	4,000	4,800	1,300	176,700
割合（％）								
持ち家に居住する主世帯数	100.00	11.33	4.68	1.70	4.68	6.26	1.70	88.67
高齢者（65歳以上）のいる主世帯数	100.00	15.38	6.36	2.15	6.32	8.65	2.32	84.62
一戸建	100.00	15.44	6.40	2.15	6.33	8.65	2.32	84.56
長屋建	100.00	12.50	0.00	—	0.00	0.00	0.00	87.50
共同住宅	100.00	9.09	4.55	0.00	0.00	4.55	4.55	90.91
その他	100.00	12.50	0.00	0.00	0.00	12.50	0.00	87.50
高齢者のいない主世帯数	100.00	5.05	2.04	1.02	2.15	2.58	0.70	94.95

